

団体名	国立大学法人山形大学						
事業名	留学生と日本人学生による山形の魅力体験&発信フィールドトリップ						
実施期間	2020年11月14日、15日						
場 所	山形県朝日町・村山市						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	17		6	6	2		31名

<実施内容>

本事業は留学生と日本人学生、地域住民の交流と、大都市では経験できない山形ならではの魅力の体験を目的として行った。新型コロナ感染対策のため、大人数での行動にならないよう2班に分かれ、2020年11月14日、15日に同じスケジュールで行った。

まず、りんごの生産が盛んな朝日町でりんご農園とゲストハウスを営む「だいちゃん農園」を訪れた。紅葉の美しい山々に囲まれた農園には、大きくて真っ赤な「ふじ」がたくさん実っていた。農園の方からりんごの手入れの方法を聞き、その手間のかかる作業に皆驚いた。おいしいりんごの見分け方やもぎ方も教えてもらい、各自お土産用の3つをじっくり選んで収穫した。収穫体験の後はゲストハウスへ移動し、ピザ作りに挑戦した。りんご農園らしい「りんごピザ」も作った。自分でピザを作るのは初めてという参加者も多かったが、本格的なピザ窯で焼いてもらったピザに満足していた。ゲストハウスの中と歴史ある古いお蔵も見学した。

次に、村山市で「最上川三難所舟下り」を体験した。船上では、船頭さんの山形弁を交えたお話から、最上川が山形の発展に担った役割や、昔の船頭達の苦労を学んだ。最後に伝統的な舟歌を聴きながら、最上川の紅葉の景色を楽しんだ。14日は強風で出船できなかったが、船頭が渡るのに苦労した三つの難所や絶景ポイントをバスで案内していただいた。

フィールドトリップ終了後は、オンラインツールを利用して旅行記を作成した。各々が発見した山形の魅力を他の留学生・日本人学生にも知ってもらえるよう、日本語と自分の母語、または得意な外国語で記事を書いた。

コロナ禍で制限の多い中ではあったが、参加者及び関係各所から感染防止にご協力いただき、安全に開催することができた。人との接触が制限される状況だからこそ、人との出会いの素晴らしさをより強く感じることもできたのではないだろうか。

<記録写真>



りんごの収穫体験



ピザ作り体験



最上川三難所舟下り

<参加者からのコメント>

Z.Yさん(中国)

果樹園にすごく美味しいりんごを食べました。りんごママはとても親切で、ピザを焼いてくれました。すごく楽しかったです。初めて山形の農家に行って、ワクワクしました。いろんなメモリーを残し、友達もできました。すごくいい体験でした。

T.Cさん(日本)

私は一年生で前期がオンラインだったため山形市から出てどこかに行くことができずせっかく山形にいるのに地元の良い場所や魅力を知らないのはとてももったいないと感じていました。実際に今回のフィールドトリップでだいちゃん農園さんではりんごの収穫とピザ作りをすることによってその地域の人々の温かさに触れられ、川下りは天気は悪かったけどバスで地点を回って山形の歴史を感じられました。山形市にいただけでは分からなかった山形県の魅力を感じることができた楽しい1日でした！